

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	デザイン学	2年/通年	2	必修
担当講師	大島 由紀	実務経験のある教員等による授業科目		○
講義目的				
デザイン発想の基礎となる考え方、落とし込みを学ぶ				
授業内容				
素材やディテールの基礎を学びデザインの基礎をデザイン画やレポートにする				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	デザインについての講義	6	デザインの持つ力を知る	
2	デザインにおけるポイント	10	感性や感覚を磨いてデザインにつなげる	
3	アパレル生産のプロセス	4	アパレル生産のプロセスを理解する	
4	素材について生地巾、マテリアル	4	素材の基礎知識を習得する	
5	布帛・ニットの基礎理解	4	素材の基礎知識を習得する	
6	布地を知るためのアプローチの方法	4	素材を実際に触れてみて学ぶ	
7	アイテムディテールと運動機能の解説	4	具体的な名称を覚え機能を理解する	
8	着衣機能について	4	具体的な名称を覚え機能を理解する	
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
講義内容を振り返りクリエイションポイントを再度確認する 講義の後にミニレポート提出				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
素材やディテールの基礎知識を習得し、ファッションデザインに落とし込むことができる。	講義60%・実習40%	作品提出 レポート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	服飾理論	1年／前期	0.3	必修
担当講師	池田 創	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
<p>広範囲にわたるファッション業界の歴史と基礎を知り、業界の構造を知る ファッション商品が出来るまでの流れと、それに関する企業の組織と機能を学ぶ</p>				
授業内容				
<p>ファッション業界の構造と職種についての説明。 洋裁道具の使用方法の説明。</p>				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	服飾理論	3	ファッション業界について・洋裁道具説明	
2	ファッション知識	3	ファッションの基礎知識	
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
<p>欠席した場合は、次回授業までにノートを書き写す</p>				
使用教材				
<p>プリントを配布</p>				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
<p>アパレル知識の習得</p>	<p>講義</p>	<p>出席、授業態度を総合評価</p>		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	造形学	1年／前期	1	必修
担当講師	小出 真人	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
平面から立体への技法を習得する。				
授業内容				
技法習得のため、講義での実践を中心とする。 製作した作品は、課題として提出。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	シルエット（アウトライン）について	2	アウトラインで服を捉える練習	
2	コラージュ	2	色のバランス感覚を養う練習	
3	創作ぬいぐるみ①	4	立体的なバランス感覚を養う、練習と実技	
4	創作ぬいぐるみ②	4	①でのぬいぐるみを完成後提出	
5	創作カットワークによる立体構成①	4	平面から立体への技法を習得	
6	創作カットワークによる立体構成②	4	①を着色、製作後に立体物の提出	
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
必要な素材は、あらかじめ用意しておくこと。				
使用教材				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
平面から立体への技法を習得する	講義 実技 課題製作	課題提出で評価		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	商品知識	1年/前期	0.5	必修
担当講師	長尾 由貴子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
正しい服のディテールや寸法の知識を身につける				
授業内容				
採寸をしながら服の構造を理解する				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	採寸について	1	筆記学習	
2	スカートの採寸	1	実際のスカートを使用して実践	
3	シャツ・ブラウスの採寸	2	実際のシャツ・ブラウスを使用して実践	
4	パンツの採寸	2	実際のパンツを使用して実践	
5	ワンピース・ドレスの採寸	2	実際のワンピース・ドレスを使用して実践	
6	ジャケット・アウターの採寸	2	実際のジャケット・アウターを使用して実践	
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
採寸漏れや計測位置を正しく理解する				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
各アイテムのディテールの基礎知識や数値を認識する事が出来る。	講義20%・実習80%	A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	色彩学	3年/通年	1.5	必修
担当講師	川津 康子	実務経験のある教員等による授業科目		○
講義目的				
色彩理論と感覚の関係を理解し、ファッション業界で必要とされる的確な配色テクニックを身につける				
授業内容				
講義とテキストおよびカラーカードを使用した演習で理解を深める				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	カラーの資格(検定)の種類や職業の説明	3	A.T.F色彩検定3級レベルに対応した内容で学	
2	色名について	3	色の伝達方法で言葉による色表示の種類を理	
3	色相環を理解し、3つに分類	3	P.C.C.Sは色彩調和を目的	
4	P.C.C.Sトーンの概念について	3	色を2つの属性で色を整理	
5	まとめり配色ときわだち配色について	3	調和を理論的に考える	
6	混色について	3	混色を分類する	
7	多色配色について	3	多色配色を正確に選ぶ	
8	多色配色のまとめ方	3	実践的に活用する	
9	日本の伝統色1	3	演習し、一覧表で日本の伝統色を理解する	
10	日本の伝統色2	3	演習し、一覧表で日本の伝統色を理解する	
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項 (履修条件)				
テーマにあったターゲットアイテムを的確に選ぶ目を持つ				
使用教材				
プリント等を配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
色彩についての基礎知識を習得	講義80%・実習20%	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる (出席重視)		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	服装史	1年／前期	0.5	必修
担当講師	大原 昭子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
デザインやコーディネートの基本知識として、服装史を学ぶ。				
授業内容				
服装の歴史を、写真を使用しながらテキストを中心に、時代背景や名称などを学ぶ。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	東洋特に目が向くジャポニズム	1	市民服が成立するまで	
2	日本の服装の変換	1	ヨーロッパ服と日本の着物	
3	20世紀前半の服装 10s~50s	2	戦争による服装の変化	
4	20世紀後半の服装 60s~現代まで	2	60年代から現代までのファッション	
5	民族服とは	2	各国の民族衣装（オランダを中心に）	
6	服装の今後の可能性	2	テーマに基づいて考察する	
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
ファッションビジネスにおける洋服の時代背景を把握する				
使用教材				
「服装史」著 大原昭子				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
現在までの、スタイルや服装を学びこれからのデザインやコーディネートに生かせるよう知識をつける	講義 最終講義後、レポート提出	出席重視で評価		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	テキスタイル	通年	1	必修
担当講師	若杉 豊	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
素材についての取り扱いを理解し、服の基礎となる素材知識を習得する				
授業内容				
教科書に沿って演習				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	素材学①	1	商品の品質表示について	
2	素材学②	1	手洗い・ドライクリーニングについて	
3	素材学③	1	素材の種類と特性	
4	素材学④	1	コットンの服の特性	
5	素材学⑤	1	リネン・ラミー（麻）の服の特性	
6	素材学⑥	1	ウールの服の特性	
7	素材学⑦	1	シルクの服の特性	
8	素材学⑧	1	合成繊維の服の特性	
9	素材学⑨	1	再生・半合成繊維の服の特性	
10	素材学⑩	1	織物・編物の違い	
11	素材学応用①	2	商品の品質表示について【応用】	
12	素材学応用②	2	手洗いドライクリーニングについて【応用】	
13	素材学応用③	2	素材の種類と特性【応用】	
14	素材学応用④	2	コットンの服の特性【応用】	
15	素材学応用⑤	2	リネン・ラミー（麻）の服の特性【応用】	
留意事項（履修条件）				
布地特性の理解を深め、場面に応じた素材選びを学んでいく				
使用教材				
「新版・Q & A現場で生きるアパレル素材の基礎知識」織研新聞社				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
素材特性の理解。 素材によるシルエットや着心地の変化、取り扱い方法について説明、手入れが出来る。	講義80%・実習20%	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	英会話	1年/前期	0.75	必修
担当講師	ラッセル ジェームズ マッケンジー	実務経験のある教員等による授業科目		
幅広い話題について、情報や考えなどを整理して英語で発表したり、話し合ったりする能力を伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。				
授業内容				
トピック関連の問題を解き理解する				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	英会話①	1	初めて会う人と自己紹介をし合う	
2	英会話②	2	機能表現 紹介 職業質問 を習得	
3	英会話③	2	家の中を案内する場面で会話する	
4	英会話④	2	家族の紹介をする	
5	英会話⑤	2	名前について、会話をする	
6	英会話⑥	2	とっさに出る言葉表現する	
7	英会話⑦	2	月、曜日、時間を表現する	
8	英会話⑧	2	機能表現 希望伝達 提案 を習得	
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
授業中は全て英語を使う				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
ある程度リスニングと日常会話ができるようになる	講義80%・実習20%	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	就職指導	2年/前期	1.2	必修
担当講師	吉藤 宣男	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
就職採用に向けてのフォローアップ				
授業内容				
アパレル業界の就職についての情報や模擬練習				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	日本アパレルの現状	4		
2	模擬テスト	5		
3	履歴書の書き方	5		
4	面接のマナー	5		
5	模擬面接	5		
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
繰り返し模擬面接を行い、本番の面接での対策を練る				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
内定	講義80%・実習20%	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	特別講義	通年	1	必修
担当講師	萩原 輝美		実務経験のある教員等による授業科目	
講義目的				
ファッショントレンドを理解しファッションの楽しさに気づく				
授業内容				
トレンドセミナー				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	ファッショントレンド春夏	10		
2	ファッショントレンド秋冬	10		
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
Q&Aの時間を設けるので、事前に質問を考えておく				
使用教材				
レジュメ				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
ラグジュアリーファッションの深い知識を身につける	講義	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	学校行事	通年	4	必修
担当講師	久保 貴信	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
ポップアップショップに参加し実践的なスキルを身につける				
授業内容				
ショップ企画から仕入れ、販売まで学生自らが学んで実施する				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	ショップイベント①	8	アイデア出し、グループワーク	
2	ショップイベント②	8	コンセプトメイキング	
3	ショップイベント③	8	ターゲット、MAPの設定	
4	ショップイベント④	8	コンペティター分析	
5	ショップイベント⑤	8	VMD基礎	
6	ショップイベント⑥	8	VMD応用	
7	ショップイベント⑦	8	品揃え計画、マーケティング	
8	ショップイベント⑧	8	仕入れについて	
9	ショップイベント⑨	8	プレゼンテーション	
10	ショップイベント⑩	8	フィードバック	
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
店舗リサーチを週1回はすること。他店、ライバル店を分析する				
使用教材				
プリント配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
アパレルショップを経営する体験をする	講義	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	商品リサーチ	1年/通年	2	必修
担当講師	大嶋 美枝子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
造形知識からデザイン画に落とし込みデザインバリエーションを導き出す				
授業内容				
デザイン資料から様々な手法を演習し、プレゼン発表式でデザインを提案する。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	リサーチについてとその必要性	4	ノート提出	
2	ファッションイメージマッププレゼン	4	内容の要点が伝えられているか	
3	ファッションビルショップリサーチ郊外学習	4	サンプルを参考に出来るところまで進めておく	
4	ショップリサーチマップ作成実習	4	サンプルを参考に出来るところまで進めておく	
5	ショップリサーチマップ発表	4	プレゼン慣れ、少しでも向上しているか	
6	ディスプレイリサーチ プレゼン	4	プレゼンを理解し、良し悪しを判断する	
7	百貨店リサーチマップ プレゼン	4	プレゼンを理解し、良し悪しを判断する	
8	定点観測分析まとめ	4	役割分担が出来ているか	
9	定点観測発表	4	役割分担が出来ているか	
10	子供服リサーチプレゼン	4	大人服とのサイズ・デザイン・色の違い	
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
洋服の構造を正しく理解する				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
様々なアイテムを正確にリサーチできるようにする	講義60%・実習40%	作品評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	イラスト	通年	5	必修
担当講師	草留 奈津子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
イラストの基本を身に着け、オリジナルのデザイン画を描けるようにする。				
授業内容				
イラスト画を、描くだけでなくテーマからスタイリング提案を通して、オリジナルデザインを描く。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	基本ボディ（直立）	5	レディス9等身のボディの練習	
2	平面イラスト①	5	衣服の描きこみ	
3	平面イラスト②	5	アイテム写真を用いて描く	
4	平面イラスト③	5	トレベ使用方法説明	
5	ポーズ練習①	8	骨格の動かし方	
6	ポーズ練習②	8	モデル写真を用いて練習	
7	ポーズ練習③	8	②を仕上げ（ペン入れ・清書）	
8	着色練習	8	アクリルガッシュでの着色練習	
9	ワンピース①	8	モデル写真をスタイル画へ	
10	ワンピース②	8	①を清書	
11	ワンピース③	8	②を着色し仕上げる	
12	オリジナルスタイリングⅡ①	8	秋冬スタイルの提案	
13	オリジナルスタイリングⅡ②	8	①の提案をレイアウトする	
14	オリジナルスタイリングⅡ③	8	②をマップにして提出	
15				
留意事項（履修条件）				
授業以外でも、素材の収集が必要になるので忘れずに用意すること。 欠席した場合、次回授業で課題を提出すること。				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
オリジナルファッションデザイン画が描けるようになる	講義 実習 課題	授業への意欲、態度、提出物を総合評価		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	ニット	2年/後期	0.1	必修
担当講師	大島 由紀	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
<p>使用素材や作成方法など、ニット全般にわたる商品と技術について、基礎的な知識を学習する。 ニット商品企画や物づくりのための、幅広く体系的な見識と技量の養成を目指す。</p>				
授業内容				
<p>研究機関において織物、ニット分野での試験、研究、指導事業に従事した経験をもとに、 使用素材や作成方法など、ニット全般にわたる商品と技術について、基礎的な知識を講義する。</p>				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	ニットの基礎知識	1	編地と織物と特性/原理/ニットの構造及び分類	
2	ニットの基礎知識	1	糸に関する一解説/ニット用糸の必要事項	
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
<p>授業以外でも、素材の収集が必要になるので忘れずに用意すること。 欠席した場合、次回授業で課題を提出すること。</p>				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
オリジナルファッションデザイン画が描けるようになる	講義 実習 課題	授業への意欲、態度、提出物を総合評価		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	フラットパターン	通年	2	必修
担当講師	一ノ瀬 美紀	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
平面裁によるパターンメイキング理論を体系的に習得する。				
授業内容				
各課題、作品を通して基本的パターンメイキングを学習、習得することを目標にする。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	フラットパターン①	3	縮尺定規の使い方	
2	フラットパターン②	3	原型の名称	
3	フラットパターン③	3	タイトスカート	
4	フラットパターン④	3	パターン検定実技対策	
5	フラットパターン⑤	3	Aラインスカート	
6	フラットパターン⑥	3	フレアースカート	
7	フラットパターン⑦	3	ギャザースカート☒	
8	フラットパターン⑧	3	インバーテッドプリーツスカート	
9	フラットパターン⑨	3	ゴアードスカート	
10	フラットパターン⑩	3	プリーツスカート(ゴアードからの展開)	
11	フラットパターン⑪	2	サーキュラースカート	
12	フラットパターン⑫	2	ハイウエストスカート	
13	フラットパターン⑬	2	基本パンツ	
14	フラットパターン⑭	2	ジーパンタイプのパンツ	
15	フラットパターン⑮	2	サブリーナパンツ	
留意事項 (履修条件)				
基本を理解し、様々な展開ができること				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
基本アイテムのパターンメイキング演習により理解とパターン修正技術を習得する。	講義40%・実習60%	学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	部分縫い	通年	3	必修
担当講師	一ノ瀬 美紀	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
各課題、作品を通して基本的な縫製仕様を、習得することを目標にする。				
授業内容				
基本的な部分縫製を実際に作成する。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	部分縫い①	5	額縁	
2	部分縫い②	5	釦付け・穴かがり	
3	部分縫い③	5	基礎ミシン	
4	部分縫い④	5	縫い代・折り代始末	
5	部分縫い⑤	5	縁どり始末	
6	部分縫い⑥	5	パッチポケット	
7	部分縫い⑦	5	スカート部分縫い☒	
8	部分縫い⑧	5	脇ポケットA(斜め)	
9	部分縫い⑨	5	カーブポケット	
10	部分縫い⑩	5	片玉縁ポケット	
11	部分縫い⑪	5	パンツファスナー	
12	部分縫い⑫	5	見返し始末(コンシールファスナー付け)	
13				
14				
15				
留意事項 (履修条件)				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
基本アイテムの縫製演習により理解と行程を習得する	講義40%・実習60%	学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	ミシン講習	通年	0.2	必修
担当講師	桑内 宏	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
アパレル産業の生産プロセスに基づき、工業製品としての生産方法と管理活動について理解を深める				
授業内容				
ミシン・ロックミシン講習				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	資材・副資材の選定	1	職業用・ロックミシンの使用方法	
2	生産用パターン作成	1	パターンの確認	
3	サンプル縫製	1	Tシャツ縫製	
4	サンプル縫製	1	パンツシャツ縫製	
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
基礎である、ミシンの使い方を学びミシンを使用できるようになる。				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
生産活動の基礎知識習得が目標である	講義40%・実習60%	学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	販売学	2年／前期	0.9	必修
担当講師	川津 泰子	実務経験のある教員等による授業科目		○
講義目的				
MDや売上管理、クレーム対応を学び販売に必要な技術を身に着ける。				
授業内容				
講義で学習したことを、実践に移して学んでいく。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	店舗の売上の構造と作り方	1	MD・VP/売上管理	
2	店舗の運営	1	イベントなどの趣旨を理解し、数字分析	
3	VP①	2	VPの作り方と考え方	
4	VP②	2	VPロールプレイングの実践	
5	アプローチ方法とニーズの聞き出し①	2	アプローチの方法を実践から学ぶ	
6	アプローチ方法とニーズの聞き出し②	2	ニーズを聞き出す実践	
7	バイイングについて	2	仕入れの考えと流れを学ぶ	
8	MD	2	商品構成の考え方	
9	オーダー実践	2	オーダー実践	
10	顧客作り/クレーム対応	2	クレーム対応実践	
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
宿題課題での、店舗リサーチが前半は毎回あるので必ず、提出すること。				
使用教材				
プリント配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
販売の基礎を学び、リサーチ実践する	講義30% 実践50% 課題20%	出席・実践意欲・課題提出を総合で評価		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	ロールプレイング	1年／後期	0.1	必修
担当講師	川津 泰子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
接客販売の基本心得と基本動作の習得 企業実習経験をより良くするためのビジネスコミュニケーションスキルアップ				
授業内容				
「コミュニケーションスキル」を使った接客プロセスストーリーの流れに沿った接客技術の習得。 ビジネスコミュニケーションのベースとなるバーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションのスキルアップの強化に努める。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	ファッション業界の流通プロセス	1	ファッション業界の全体図を知る	
2	ロールプレイング①	1	クレーム対策や顧客づくり	
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
「能動的姿勢」を強化し、リアル店舗で即戦力になる接客スキルの習得とビジネスコミュニケーション力アップを図る。				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
セールスワークの理解を高め、 実店舗での即戦力となる接客スキルの取得	講義20%・実習80%	学業姿勢・出欠状況を基に、 履修認定の是非を決定する		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	MD	2年／通年	1.35	必修
担当講師	川津 泰子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
企画リーダーとして、ターゲットのニーズに合ったブランディングと商品提案の指示が出来る人材の育成				
授業内容				
ブランディングとマーケティングを考えたうえでの企画やディストリビュート、コントロール方法など				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	企画書作成	5	企画書にまとめる	
2	量産について	5	量産する時の注意事項解説	
3	商品企画について	8	量産注意にもとづいた企画の提案	
4	商品企画について	8	適量、適正価額、場所、時期について	
5	プレゼンテーション	1	まとめ	
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
トレンドや社会動向へ関心を持ち、店頭リサーチを日頃から実施することで、より理解が深まる				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
アパレル商品企画とアイテム作成の一連の流れを理解する	講義20%・実習80%	学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	VMD	2年／後期	0.25	必修
担当講師	川澁 泰子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
ショップレイアウト提案の指示が出来る人材の育成				
授業内容				
ブランディングとマーケティングを考えたうえでディストリビュート、コントロール方法など				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	商品企画について	1	量産注意にもとづいた企画の提案	
2	M A P 作成	1	オリジナルマップの作成	
3	シュミレーション	1	演習	
4	プレゼンテーション	1	課題発表	
5	フィードバック	1	まとめ	
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
トレンドや社会動向へ関心を持ち、店頭リサーチを日頃から実施することでより理解が深まる				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
アパレル商品企画とアイテム作成の一連の流れを理解する	講義20%・実習80%	学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	ディスプレイ	1年／前期	0.4	必修
担当講師	村尾 満弘	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
ディスプレイの基礎を身に着ける。				
授業内容				
ディスプレイやグループでの企画を通して、基礎を身に着けていく				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	ディスプレイの重要性・基礎・VMD・什器・構成	1	ビジュアル演出の視点・核心と快適な空間づくり	
2	ディスプレイの構成	1	構成の種類と表現手法	
3	シンプルハンガー立案/テーマ別シングルハンガー	2	グループ企画での立案・企画を忠実に再現する	
4	スカーフアレンジ・結び方/レイダウンの基礎	2	スカーフの実習/半面で置くテクニックの着装感	
5	7日間コーディネート/スタイリング実習	2	レイダウンのテクニックコーディネート実習	
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
実習の多い講義です。欠席はしないよう心がけて下さい				
使用教材				
ファッション流通講座⑧「ディスプレイ・VP・VMD」（文化服装学院編）				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
基礎を身に着け、実践する力を身に着ける	講義20% 実習80%	出席率と授業への意欲を総合的に評価する		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	ピンワーク	1年／後期	0.25	必修
担当講師	村尾 満弘	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
ピンワークの製作を、ミニボディを通して体験し、オリジナルの作品を製作する				
授業内容				
ミニボディでのピンワークの製作。製作にあたっての、レポートと計画書も作成				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	授業「ミニボディの構成・ピンワーク」①	1.5	オートクチュール アンビエ・ドゥブルピエ・タック	
2	実習	1	作品レポート・企画書 作成	
3	授業「ミニボディの構成・ピンワーク」②	1.5	カジュアル アンビエ・ドゥブルピエ・タック	
4	実習	1	作品レポート・企画書 作成	
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
製作した作品、レポート、計画書は授業後に提出なります。 欠席や遅れている場合は、次回授業までに提出すること。				
使用教材				
ファッション流通講座⑧「ディスプレイ・VP・VMD」（文化服装学院編）				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
オリジナルのピンワーク を製作する	講義 実習	作品・レポート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	店舗リサーチ	1年/通年	2	必修
担当講師	大嶋 美枝子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
造形知識からデザイン画に落とし込みデザインバリエーションを導き出す				
授業内容				
デザイン資料から様々な手法を演習し、プレゼン発表式でデザインを提案する				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	リサーチについてとその必要性	4	プレゼン慣れ、少しでも向上しているか	
2	ファッションイメージマッププレゼン	4	サンプルを参考に出来るところまで進めておく	
3	ファッションビルショップリサーチ郊外学習	4	プレゼン慣れ、少しでも向上しているか	
4	ショップリサーチマップ作成実習	4	サンプルを参考に出来るところまで進めておく	
5	ショップリサーチマップ発表	4	プレゼン慣れ、少しでも向上しているか	
6	ディスプレイリサーチ プレゼン	4	プレゼンを理解し、良し悪しを判断する	
7	百貨店リサーチマップ プレゼン	4	プレゼンを理解し、良し悪しを判断する	
8	定点観測分析まとめ	4	サンプルを参考に出来るところまで進めておく	
9	定点観測発表	4	プレゼン慣れ、少しでも向上しているか	
10	子供服リサーチプレゼン	4	プレゼンテーション力の向上	
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
様々なアイテムを正確にリサーチできるようにする	講義60%・実習40%	作品評価 ※C,D,Eは不認定となる (出席重視)		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	アドパタイジング	2年/通年	2.9	必修
担当講師	久保 貴信	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
インターネットをビジネス（特にEC周辺）に活用するうえで、知っておくべき基礎知識の学習と、 一個人でもECの立ち上げから企画、運用が実践できるような予備知識を学び、即戦力となりうる力を 養っていく。				
授業内容				
IoT（デジタル機器や通信技術等含むネットの発達）による消費者行動の変遷を把握し、 販売の知識とプロモーションの知識を養い、オムニチャネル（オンライン・オフライン） な企画立案・実行・運用がイメージできることを目標とする。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	アドパタイジング①	5	インターネット市場について	
2	アドパタイジング②	5	ファッションテック	
3	アドパタイジング③	5	EC構築サービスについて	
4	アドパタイジング④	5	SNS（ツイッター、インスタグラム）対策	
5	アドパタイジング⑤	5	ネット作成サービス演習	
6	アドパタイジング⑥	5	ネットショップ構築	
7	アドパタイジング⑦	5	関連デザイン	
8	アドパタイジング⑧	15	制作	
9	アドパタイジング⑨	5	発表	
10	アドパタイジング⑩	3	フィードバック	
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
ネットショップの立ち上げ から集客まで運営の基礎を習得 する	講義60%・実習40%	作品評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重 視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	パッケージ	1年/後期	0.75	必修
担当講師	小出 真人	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
リテールにおいて広く利用されている、コンピューターによるパッケージデザイン資料作成のスキルを習得				
授業内容				
トレンド情報を活用しパッケージ資料の作成&実践をAdobeイラストレータ、フォトショップを使用して演習する				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	パッケージ①	3	写真コラージュとタイプグラフィー	
2	パッケージ②	3	リサーチから模倣	
3	パッケージ③	3	模範イメージからの展開	
4	パッケージ④	3	オリジナルイメージの製作	
5	パッケージ⑤	3	発表	
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項 (履修条件)				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
パッケージデザインができるようになる	講義60%・実習40%	作品評価 ※C,D,Eは不認定となる (出席重視)		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	品質管理・クレーム	2年/通年	1	必修
担当講師	川湊 泰子	実務経験のある教員等による授業科目		○
講義目的				
品質管理の目的と意義を理解し、素材に合わせた計画から改善までサイクルを理解する。 ロールプレイングで検証し、クレーム対応の仕方を学ぶ。				
授業内容				
品質管理の体系を理解し手法を身に着けることで、お客様との会話とトラブル対応など 実店舗で実際に起きうる事態を想定して演習。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	綿麻製品の商品知識	1	品質保証のプロセスの管理等について	
2	綿麻製品の商品知識 実習	1		
3	ロールプレイング	2	応答の技法について理解して演習	
4	ウール・獣毛・シルク製品の商品知識	1	品質保証のプロセスの管理等について	
5	ウール・獣毛・シルク製品の商品知識実習	1		
6	ロールプレイング	2	応答の技法について理解して演習	
7	合成繊維製品の商品知識	1	品質保証のプロセスの管理等について	
8	合成繊維製品の商品知識 実習	1		
9	ロールプレイング	2	応答の技法について理解して演習	
10	再生繊維・半合成繊維製品の商品知識	1	品質保証のプロセスの管理等について	
11	再生繊維・半合成繊維製品の商品知識実習	1		
12	ロールプレイング	2	応答の技法について理解して演習	
13	皮革・毛皮製品の商品知識	1	品質保証のプロセスの管理等について	
14	皮革・毛皮製品の商品知識 実習	1		
15	ロールプレイング	2	応答の技法について理解して演習	
留意事項（履修条件）				
特になし				
使用教材				
プリント等を配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
求められる販売員としての自覚・理解し、実践実行できるようになるまでを目標とする	(例) 講義20%・実習80%	出席・実践意欲・課題提出を総合で評価		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	フォーマル・帽子	2年／後期	0.05	必修
担当講師	山野 たみえ	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
帽子についての知識、コーディネート方法を習得する。				
授業内容				
歴史や種類の演習				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	帽子の歴史についてコーディネート	1	歴史を知る	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
自分の持っている帽子を持ってくる				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
帽子についての知識を深める	講義100%	作品評価 ※C,D,Eは不認定となる (出席重視)		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	アクセサリー	1年／前期	0.05	必修
担当講師	山野 たみえ	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
アクセサリーの基礎を学ぶ				
授業内容				
工具・資材を学び、実際に製作する				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	アクセサリーの基礎と実習	1	工具・資材の基礎とアクセサリー製作実習	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
アクセサリー素材、副資材分類と特徴を学ぶ				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
工具・資材の基礎を考えながら実際に製作する	講義 実習	実習での製作物を評価		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	ヘア・メイク・ネイル	2年/通年	2.5	必修
担当講師	赤木 美里	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
ヘアの知識・技術を学習し、オリジナルのヘアアレンジが出来るようになる。				
授業内容				
実習を行い、技術を身に付けていく。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	授業①ヘアー知識	4	道具・基礎知識説明/ブラッシング・ゴム	
2	実習	4	復習 授業①	
3	授業②ホットカラー	4	巻き方の種類・基本/ポニーテール	
4	実習	4	復習 授業②	
5	授業③ホットカーラー	4	オールパーパス・GP巻き・テール巻き	
6	実習	4	復習 授業③	
7	授業④ホットカーラー	4	ストレートブロー・ホットカーラー (GP巻)	
8	実習	4	復習 授業④	
9	授業⑤合同 編み方	4	編み込み・ツイスト・スパイラルなど	
10	実習 合同	4	復習 授業⑤	
11	授業⑥ピン・コテ	2	ピンの種類・使い方/コテとカラーの違い	
12	実習	2	復習 授業⑥	
13	授業⑦合同 逆毛・抱き合わせ	2	逆毛の立て方・役割/抱き合わせ	
14	実習 合同	2	復習 授業⑦	
15	授業⑧合同 アップスタイル	2	アップスタイル・カールの出し方	
留意事項 (履修条件)				
授業・実習で、1年間で学習した技術を3つ以上使用し、テーマは自由でオリジナル作品を製作し、提出してもらうので、授業後復習はしっかりしておくこと。				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
3つ以上の技術を使用し、オリジナル作品を製作する	授業 実習	出席・授業態度・意欲・課題を総合評価する		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	IT (ビジネス)	2年/通年	2.5	必修
担当講師	劉 重孝	実務経験のある教員等による授業科目		○
講義目的				
Illustrator・Photoshop等を社会に出てスムーズに作業できるよう応用力をつけるための基礎を学ぶ。				
授業内容				
Illustrator・Photoshop等のソフトを使用しプレゼンテーション資料の作成や、より実践的な技術や手法を体験し学ぶ。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	Photoshop ①	3	画質調整・色調補正の練習	
2	Photoshop ②	3	レイヤーの説明・切抜の練習	
3	Illustrator ①	3	図形描画・変形・色設定	
4	Illustrator ②	3	文字入力、ベジェラインなどの基本練習	
5	Illustrator ③	3	スウォッチ・その他機能の練習	
6	Excel 演習	4	グラフ作成練習	
7	Illustrator ④	3	Illustratorでのグラフ作成練習	
8	Illustrator ⑤	3	チラシ作成練習	
9	Illustrator ⑥	3	トレース練習	
10	Photoshop ③	4	レイヤーを使用したメイク効果の表現練習	
11	Illustrator ⑦	3	ロゴデザイン・図形の変化応用	
12	Illustrator ⑧	4	販促アイテム作成	
13	解像度・素材の活用	3	画像取扱い時の解像度の基礎知識	
14	PowerPoint ①	4	プレゼン演習	
15	PowerPoint ②	4	プレゼン発表	
留意事項 (履修条件)				
欠席した場合、次の授業までに自習しておくこと				
使用教材				
USBメモリ・筆記用具を毎回用意しておくこと				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
各ソフトの使い方を覚え、駆使していけるようになる。	(例) 講義20%・実習80%	課題提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる (出席重視)		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	ビジネス用語	1年/通年	1	必修
担当講師	長尾 由貴子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
用語を学習し、これからの授業・製作で活かす				
授業内容				
テキストに沿って、ビジネス用語を学ぶ				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	マーケティング&マーチャダイジング関係①	1		
2	マーケティング&マーチャダイジング関係②	1		
3	マーケティング&マーチャダイジング関係③	1		
4	マーケティング&マーチャダイジング関係④	1		
5	ファッション産業（構造・企業）・生産系①	1		
6	ファッション産業（構造・企業）・生産系②	1		
7	ファッション産業（構造・企業）・生産系③	1		
8	ファッション産業（小売関係）	2		
9	ファッションイベント情報	2		
10	ファッションに関する様々な職種	2		
11	商品/ディスプレイ/物流など	2		
12	略語/現代用語系	2		
13	ファッション産業（構造・企業）・生産系④	1		
14	ファッション産業（構造・企業）・生産系⑤	1		
15	ファッション産業（構造・企業）・生産系⑥	1		
留意事項（履修条件）				
使用教材				
ファッション大辞典 著 吉村誠一（織研新聞社）				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
用語を覚え、意味を理解する	講義	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	Fビジネス検定対策	1年/前期	0.5	必修
担当講師	長尾 由貴子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
ファッションビジネス検定の合格に向けての授業				
授業内容				
テキストや過去の問題に沿って学ぶ				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	検定問題①	1	マーケティング関係①	
2	検定問題②	1	マーケティング関係②	
3	検定問題③	1	マーチャンドアイジング関係①	
4	検定問題④	1	マーチャンドアイジング関係②	
5	検定問題⑤	1	ファッション産業（構造・企業）生産系①	
6	検定問題⑥	1	ファッション産業（構造・企業）生産系②	
7	検定問題⑦	1	ファッション産業（構造・企業）生産系③	
8	検定問題⑧	1	ファッション産業（小売関係）	
9	検定問題⑨	1	ファッションイベント情報	
10	検定問題⑩	1	ファッションに関する様々な職種	
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
使用教材				
過去問題				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
用語を覚え、意味を理解する	講義	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	製作実習	通年	7.95	必修
担当講師	有田 裕人	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
制作の実習授業				
授業内容				
制作に向けてのフォローアップ				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	制作実習①	15	仕様書作成	
2	制作実習②	16	製図	
3	制作実習③	16	仮縫い	
4	制作実習④	16	地直し	
5	制作実習⑤	16	トワール組み立て	
6	制作実習⑥	16	トワールチェック修正	
7	制作実習⑦	16	裁断	
8	制作実習⑧	16	組み立て	
9	制作実習⑨	16	仕上げ	
10	制作実習⑩	16	発表、提出準備	
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
使用教材				
筆記用具、縫製道具				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
制作物の完成	実習	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	学園祭実習	通年	2.5	必修
担当講師	有田 裕人	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
学園祭のファッションショーに向けた衣装の実習授業				
授業内容				
制作に向けてのフォローアップ				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	制作実習①	10	グループワーク、スケジュール設計	
2	制作実習②	10	製図～縫製パターン処理	
3	制作実習③	10	トワール組み立てからチェック修正	
4	制作実習④	10	基礎縫い、本縫い	
5	制作実習⑤	10	リハーサル	
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
提出期限を守ること				
使用教材				
筆記用具、縫製道具				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
制作物の完成	実習	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	卒業展制作実習	2年/後期	3	必修
担当講師	岡本 剛二	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
学園祭のファッションショーに向けた衣装の実習授業				
授業内容				
制作に向けてのフォローアップ				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	卒業展制作実習①	10	ポートフォリオ作成	
2	卒業展制作実習②	10	製図～縫製パターン処理	
3	卒業展制作実習③	10	トワール組み立てからチェック修正	
4	卒業展制作実習④	10	基礎縫い、本縫い	
5	卒業展制作実習⑤	20	コーディネート作成	
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
提出期限を守ること				
使用教材				
筆記用具、縫製道具				
最終到達目標	学習形態		成績評価方法	
制作物の完成	実習		ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）	

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	自由研究実習	通年	4	必修
担当講師	一ノ瀬 美紀	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
好きな項目を自ら設定し、その事について詳しく調べまとめあげていく				
授業内容				
自由研究に向けてのフォローアップ				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	自由研究実習①	10		
2	自由研究実習②	10		
3	自由研究実習③	10		
4	自由研究実習④	10		
5	自由研究実習⑤	10		
6	自由研究実習⑥	10		
7	自由研究実習⑦	10		
8	自由研究実習⑧	10		
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
個々で設定した研究内容を深く掘り下げること				
使用教材				
筆記用具				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
制作物の完成	実習	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	デザイン学	2年/通年	2	必修
担当講師	大島 由紀	実務経験のある教員等による授業科目		○
講義目的				
デザイン発想の基礎となる考え方、落とし込みを学ぶ				
授業内容				
素材やディテールの基礎を学びデザインの基礎をデザイン画やレポートにする				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	デザインについての講義	6	デザインの持つ力を知る	
2	デザインにおけるポイント	10	感性や感覚を磨いてデザインにつなげる	
3	アパレル生産のプロセス	4	アパレル生産のプロセスを理解する	
4	素材について生地巾、マテリアル	4	素材の基礎知識を習得する	
5	布帛・ニットの基礎理解	4	素材の基礎知識を習得する	
6	布地を知るためのアプローチの方法	4	素材を実際に触れてみて学ぶ	
7	アイテムディテールと運動機能の解説	4	具体的な名称を覚え機能を理解する	
8	着衣機能について	4	具体的な名称を覚え機能を理解する	
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
講義内容を振り返りクリエイションポイントを再度確認する 講義の後にミニレポート提出				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
素材やディテールの基礎知識を習得し、ファッションデザインに落とし込むことができる	講義60%・実習40%	作品提出 レポート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	服飾理論	1年／前期	0.3	必修
担当講師	池田 創	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
<p>広範囲にわたるファッション業界の歴史と基礎を知り、業界の構造を知る ファッション商品が出来るまでの流れと、それに関する企業の組織と機能を学ぶ</p>				
授業内容				
<p>ファッション業界の構造と職種についての説明。 洋裁道具の使用方法の説明。</p>				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	服飾理論	3	ファッション業界について・洋裁道具説明	
2	ファッション知識	3	ファッションの基礎知識	
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
<p>欠席した場合は、次回授業までにノートを書き写す</p>				
使用教材				
<p>プリントを配布</p>				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
<p>アパレル知識の習得</p>	<p>講義</p>	<p>出席、授業態度を総合評価</p>		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	造形学	1年／前期	1	必修
担当講師	小出 真人	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
平面から立体への技法を習得する。				
授業内容				
技法習得のため、講義での実践を中心とする。 製作した作品は、課題として提出。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	シルエット（アウトライン）について	2	アウトラインで服を捉える練習	
2	コラージュ	2	色のバランス感覚を養う練習	
3	創作ぬいぐるみ①	4	立体的なバランス感覚を養う、練習と実技	
4	創作ぬいぐるみ②	4	①でのぬいぐるみを完成後提出	
5	創作カットワークによる立体構成①	4	平面から立体への技法を習得	
6	創作カットワークによる立体構成②	4	①を着色、製作後に立体物の提出	
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
必要な素材は、あらかじめ用意しておくこと				
使用教材				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
平面から立体への技法を習得する	講義 実技 課題製作	課題提出で評価		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	商品知識	1年/前期	0.5	必修
担当講師	長尾 由貴子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
正しい服のディテールや寸法の知識を身につける				
授業内容				
採寸をしながら服の構造を理解する				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	採寸について	1	筆記学習	
2	スカートの採寸	1	実際のスカートを使用して実践	
3	シャツ・ブラウスの採寸	2	実際のシャツ・ブラウスを使用して実践	
4	パンツの採寸	2	実際のパンツを使用して実践	
5	ワンピース・ドレスの採寸	2	実際のワンピース・ドレスを使用して実践	
6	ジャケット・アウターの採寸	2	実際のジャケットアウターを使用して実践	
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
採寸漏れや計測位置を正しく理解する				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
各アイテムのディテールの基礎知識や数値を認識する事が出来る	講義20%・実習80%	A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	色彩学	3年/通年	1.5	必修
担当講師	川淵 康子	実務経験のある教員等による授業科目		○
講義目的				
色彩理論と感覚の関係を理解し、ファッション業界で必要とされる的確な配色テクニックを身につける				
授業内容				
講義とテキストおよびカラーカードを使用した演習で理解を深める				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	カラーの資格(検定)の種類や職業の説明	3	A.T.F色彩検定3級レベルに対応した内容で学	
2	色名について	3	色の伝達方法で言葉による色表示の種類を理	
3	色相環を理解し、3つに分類	3	P.C.C.Sは色彩調和を目的	
4	P.C.C.Sトーンの概念について	3	色を2つの属性で色を整理	
5	まとめり配色ときわだち配色について	3	調和を理論的に考える	
6	混色について	3	混色を分類する	
7	多色配色について	3	多色配色を正確に選ぶ	
8	多色配色のまとめ方	3	実践的に活用する	
9	日本の伝統色1	3	演習し、一覧表で日本の伝統色を理解する	
10	日本の伝統色2	3	演習し、一覧表で日本の伝統色を理解する	
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項 (履修条件)				
テーマにあったターゲットアイテムを的確に選ぶ目を持つ				
使用教材				
プリント等を配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
色彩についての基礎知識を習得	講義80%・実習20%	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる (出席重視)		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	服装史	1年／前期	0.5	必修
担当講師	大原 昭子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
デザインやコーディネートの基本知識として、服装史を学ぶ。				
授業内容				
服装の歴史を、写真を使用しながらテキストを中心に、時代背景や名称などを学ぶ。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	東洋特に目が向くジャポニズム	1	市民服が成立するまで	
2	日本の服装の変換	1	ヨーロッパ服と日本の着物	
3	20世紀前半の服装 10s~50s	2	戦争による服装の変化	
4	20世紀後半の服装 60s~現代まで	2	60年代から現代までのファッション	
5	民族服とは	2	各国の民族衣装（オランダを中心に）	
6	服装の今後の可能性	2	テーマに基づいて考察する	
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
ファッションビジネスにおける洋服の時代背景を把握する				
使用教材				
「服装史」著 大原昭子				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
現在までの、スタイルや服装を学びこれからのデザインやコーディネートに生かせるよう知識をつける	講義 最終講義後、レポート提出	出席重視で評価		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	テキスタイル	通年	1	必修
担当講師	若杉 豊	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
素材についての取り扱いを理解し、服の基礎となる素材知識を習得する。				
授業内容				
教科書に沿って演習。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	素材学①	1	商品の品質表示について	
2	素材学②	1	手洗い・ドライクリーニングについて	
3	素材学③	1	素材の種類と特性	
4	素材学④	1	コットンの服の特性	
5	素材学⑤	1	リネン・ラミー（麻）の服の特性	
6	素材学⑥	1	ウールの服の特性	
7	素材学⑦	1	シルクの服の特性	
8	素材学⑧	1	合成繊維の服の特性	
9	素材学⑨	1	再生・半合成繊維の服の特性	
10	素材学⑩	1	織物・編物の違い	
11	素材学応用①	2	商品の品質表示について【応用】	
12	素材学応用②	2	手洗いドライクリーニングについて【応用】	
13	素材学応用③	2	素材の種類と特性【応用】	
14	素材学応用④	2	コットンの服の特性【応用】	
15	素材学応用⑤	2	リネン・ラミー（麻）の服の特性【応用】	
留意事項（履修条件）				
布地特性の理解を深め、場面に応じた素材選びを学んでいく				
使用教材				
「新版・Q & A 現場で生きるアパレル素材の基礎知識」 織研新聞社				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
素材特性の理解。 素材によるシルエットや着心地の変化、取り扱い方法について説明、手入れが出来る	講義80%・実習20%	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	英会話	1年/前期	0.75	必修
担当講師	ラッセル ジェームズ マッケンジー	実務経験のある教員等による授業科目		○
幅広い話題について、情報や考えなどを整理して英語で発表したり、話し合ったりする能力を伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。				
授業内容				
トピック関連の問題を解き理解する				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	英会話①	1	初めて会う人と自己紹介をし合う	
2	英会話②	2	機能表現 紹介 職業質問 を習得	
3	英会話③	2	家の中を案内する場面で会話する	
4	英会話④	2	家族の紹介をする	
5	英会話⑤	2	名前について、会話をする	
6	英会話⑥	2	とっさに出る言葉表現する	
7	英会話⑦	2	月、曜日、時間を表現する	
8	英会話⑧	2	機能表現 希望伝達 提案 を習得	
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
授業中は全て英語を使う				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
ある程度リスニングと日常会話ができるようになる	講義80%・実習20%	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	就職指導	2年/前期	1	必修
担当講師	吉藤 宣男	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
就職採用に向けてのフォローアップ				
授業内容				
アパレル業界の就職についての情報や模擬練習				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	日本アパレルの現状	4		
2	模擬テスト	4		
3	履歴書の書き方	4		
4	面接のマナー	4		
5	模擬面接	4		
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
繰り返し模擬面接を行い、本番の面接での対策を練る				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
内定	講義80%・実習20%	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	特別講義	通年	1	必修
担当講師	萩原 輝美	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
ファッショントレンドを理解しファッションの楽しさに気づく				
授業内容				
トレンドセミナー				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	ファッショントレンド春夏	10		
2	ファッショントレンド秋冬	10		
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
Q&Aの時間を設けるので、事前に質問を考えておく				
使用教材				
レジュメ				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
ラグジュアリーファッションの深い知識を身につける	講義	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	学校行事	通年	4	必修
担当講師	久保 貴信	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
ポップアップショップに参加し実践的なスキルを身につける				
授業内容				
ショップ企画から仕入れ、販売まで学生自らが学んで実施する				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	ショップイベント①	8	アイデア出し、グループワーク	
2	ショップイベント②	8	コンセプトメイキング	
3	ショップイベント③	8	ターゲット、MAPの設定	
4	ショップイベント④	8	コンペティター分析	
5	ショップイベント⑤	8	VMD基礎	
6	ショップイベント⑥	8	VMD応用	
7	ショップイベント⑦	8	品揃え計画、マーケティング	
8	ショップイベント⑧	8	仕入れについて	
9	ショップイベント⑨	8	プレゼンテーション	
10	ショップイベント⑩	8	フィードバック	
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
店舗リサーチを週1回はすること。他店、ライバル店を分析する				
使用教材				
プリント配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
アパレルショップを経営する体験をする	講義	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
クリエイション	アパレル造形	2年/通年	1	必修
担当講師	大島 由紀	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
造形知識からデザイン画に落とし込みデザインバリエーションを導き出す				
授業内容				
デザイン資料から様々な手法を演習し、プレゼン発表式でデザインを提案する				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	イコリティ	2	テーマに沿った着色デザイン画の作成	
2	リピート	3	テーマに沿った着色デザイン画の作成	
3	グラデーション	3	テーマに沿った着色デザイン画の作成	
4	アシンメトリー	3	テーマに沿った着色デザイン画の作成	
5	アンバランス	3	テーマに沿った着色デザイン画の作成	
6	擬対象	3	テーマに沿った着色デザイン画の作成	
7	シュパミング	3	テーマに沿った着色デザイン画の作成	
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
言葉の意味を理解した上でデザインにうまく表現ができているかをチェックする				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
様々なアイデアを1つのデザインにミックスさせて自分自身の独自のデザインを生み出す	講義60%・実習40%	作品評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	商品リサーチ	1年/通年	1	必修
担当講師	大嶋 美枝子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
造形知識からデザイン画に落とし込みデザインバリエーションを導き出す				
授業内容				
デザイン資料から様々な手法を演習し、プレゼン発表式でデザインを提案する。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	リサーチについてとその必要性	2	ノート提出	
2	ファッションイメージマッププレゼン	2	内容の要点が伝えられているか	
3	ファッションビルショップリサーチ郊外学習	2	サンプルを参考に出来るところまで進めておく	
4	ショップリサーチマップ作成実習	2	サンプルを参考に出来るところまで進めておく	
5	ショップリサーチマップ発表	2	プレゼン慣れ、少しでも向上しているか	
6	ディスプレイリサーチ プレゼン	2	プレゼンを理解し、良し悪しを判断する	
7	百貨店リサーチマップ プレゼン	2	プレゼンを理解し、良し悪しを判断する	
8	定点観測分析まとめ	2	役割分担が出来ているか	
9	定点観測発表	2	役割分担が出来ているか	
10	子供服リサーチプレゼン	2	大人服とのサイズ・デザイン・色の違い	
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
洋服の構造を正しく理解する				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
様々なアイテムを正確にリサーチできるようにする。	講義60%・実習40%	作品評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	イラスト	通年	4	必修
担当講師	草留 奈津子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
イラストの基本を身に着け、オリジナルのデザイン画を描けるようにする				
授業内容				
イラスト画を、描くだけでなくテーマからスタイリング提案を通して、オリジナルデザインを描く				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	基本ボディ（直立）	3	レディス9等身のボディの練習	
2	平面イラスト①	3	衣服の描きこみ	
3	平面イラスト②	3	アイテム写真を用いて描く	
4	平面イラスト③	3	トレベ使用方法説明	
5	ポーズ練習①	6	骨格の動かし方	
6	ポーズ練習②	6	モデル写真を用いて練習	
7	ポーズ練習③	7	②を仕上げ（ペン入れ・清書）	
8	着色練習	7	アクリルガッシュでの着色練習	
9	ワンピース①	7	モデル写真をスタイル画へ	
10	ワンピース②	7	①を清書	
11	ワンピース③	7	②を着色し仕上げる	
12	オリジナルスタイリングⅡ①	7	秋冬スタイルの提案	
13	オリジナルスタイリングⅡ②	7	①の提案をレイアウトする	
14	オリジナルスタイリングⅡ③	7	②をマップにして提出	
15				
留意事項（履修条件）				
授業以外でも、素材の収集が必要になるので忘れずに用意すること。 欠席した場合、次回授業で課題を提出すること。				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
オリジナルファッションデザイン画が描けるようになる	講義 実習 課題	授業への意欲、態度、提出物を総合評価		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	ニット	2年/後期	0.1	必修
担当講師	大島 由紀	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
<p>使用素材や作成方法など、ニット全般にわたる商品と技術について、基礎的な知識を学習する。 ニット商品企画や物づくりのための、幅広く体系的な見識と技量の養成を目指す。</p>				
授業内容				
<p>研究機関において織物、ニット分野での試験、研究、指導事業に従事した経験をもとに、 使用素材や作成方法など、ニット全般にわたる商品と技術について、基礎的な知識を講義する。</p>				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	ニットの基礎知識	1	編地と織物と特性/原理/ニットの構造及び分類	
2	ニットの基礎知識	1	糸に関する一解説/ニット用糸の必要事項	
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
<p>授業以外でも、素材の収集が必要になるので忘れずに用意すること。 欠席した場合、次回授業で課題を提出すること。</p>				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
オリジナルファッションデザイン画が描けるようになる	講義 実習 課題	授業への意欲、態度、提出物を総合評価		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	フラットパターン	通年	1.35	必修
担当講師	一ノ瀬 美紀	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
平面裁によるパターンメイキング理論を体系的に習得する。				
授業内容				
各課題、作品を通して基本的パターンメイキングを学習、習得することを目標にする。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	フラットパターン①	1	縮尺定規の使い方	
2	フラットパターン②	1	原型の名称	
3	フラットパターン③	1	タイトスカート	
4	フラットパターン④	2	パターン検定実技対策	
5	フラットパターン⑤	2	Aラインスカート	
6	フラットパターン⑥	2	フレアスカート	
7	フラットパターン⑦	2	ギャザースカート☒	
8	フラットパターン⑧	2	インバーテッドプリーツスカート	
9	フラットパターン⑨	2	ゴアードスカート	
10	フラットパターン⑩	2	プリーツスカート(ゴアードからの展開)	
11	フラットパターン⑪	2	サーキュラースカート	
12	フラットパターン⑫	2	ハイウエストスカート	
13	フラットパターン⑬	2	基本パンツ	
14	フラットパターン⑭	2	ジーパンタイプのパンツ	
15	フラットパターン⑮	2	サブリーナパンツ	
留意事項 (履修条件)				
基本を理解し、様々な展開ができること				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
基本アイテムのパターンメイキング演習により理解とパターン修正技術を習得する	講義40%・実習60%	学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	部分縫い	通年	3	必修
担当講師	一ノ瀬 美紀	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
各課題、作品を通して基本的な縫製仕様を、習得することを目標にする。				
授業内容				
基本的な部分縫製を実際に作成する				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	部分縫い①	5	額縁	
2	部分縫い②	5	釦付け・穴かがり	
3	部分縫い③	5	基礎ミシン	
4	部分縫い④	5	縫い代・折り代始末	
5	部分縫い⑤	5	縁どり始末	
6	部分縫い⑥	5	パッチポケット	
7	部分縫い⑦	5	スカート部分縫い☒	
8	部分縫い⑧	5	脇ポケットA(斜め)	
9	部分縫い⑨	5	カーブポケット	
10	部分縫い⑩	5	片玉縁ポケット	
11	部分縫い⑪	5	パンツファスナー	
12	部分縫い⑫	5	見返し始末(コンシールファスナー付け)	
13				
14				
15				
留意事項 (履修条件)				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
基本アイテムの縫製演習により理解と行程を習得する	講義40%・実習60%	学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	ミシン講習	通年	0.2	必修
担当講師	桑内 宏	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
アパレル産業の生産プロセスに基づき、工業製品としての生産方法と管理活動について理解を深める				
授業内容				
ミシン・ロックミシン講習				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	資材・副資材の選定	1	職業用・ロックミシンの使用方法	
2	生産用パターン作成	1	パターンの確認	
3	サンプル縫製	1	Tシャツ縫製	
4	サンプル縫製	1	パンツシャツ縫製	
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
基礎である、ミシンの使い方を学びミシンを使用できるようになる				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
生産活動の基礎知識習得が目標である	講義40%・実習60%	学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	販売学	2年／前期	0.9	必修
担当講師	川津 泰子	実務経験のある教員等による授業科目		○
講義目的				
MDや売上管理、クレーム対応を学び販売に必要な技術を身に着ける。				
授業内容				
講義で学習したことを、実践に移して学んでいく。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	店舗の売上の構造と作り方	1	MD・VP/売上管理	
2	店舗の運営	1	イベントなどの趣旨を理解し、数字分析	
3	VP①	2	VPの作り方と考え方	
4	VP②	2	VPロールプレイングの実践	
5	アプローチ方法とニーズの聞き出し①	2	アプローチの方法を実践から学ぶ	
6	アプローチ方法とニーズの聞き出し②	2	ニーズを聞き出す実践	
7	バイイングについて	2	仕入れの考えと流れを学ぶ	
8	MD	2	商品構成の考え方	
9	オーダー実践	2	オーダー実践	
10	顧客作り/クレーム対応	2	クレーム対応実践	
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
宿題課題での、店舗リサーチが前半は毎回あるので必ず、提出すること。				
使用教材				
プリント配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
販売の基礎を学び、リサーチ実践する	講義30% 実践50% 課題20%	出席・実践意欲・課題提出を総合で評価		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	ロールプレイング	1年／後期	0.1	必修
担当講師	川津 泰子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
接客販売の基本心得と基本動作の習得 企業実習経験をより良くするためのビジネスコミュニケーションスキルアップ				
授業内容				
「コミュニケーションスキル」を使った接客プロセスストーリーの流れに沿った接客技術の習得。 ビジネスコミュニケーションのベースとなるバーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションのスキルアップの強化に努める。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	ファッション業界の流通プロセス	1	ファッション業界の全体図を知る	
2	ロールプレイング①	1	クレーム対策や顧客づくり	
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
「能動的姿勢」を強化し、リアル店舗で即戦力になる接客スキルの習得とビジネスコミュニケーション力アップを図る				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
セールスワークの理解を高め、 実店舗での即戦力となる接客スキルの取得	講義20%・実習80%	学業姿勢・出欠状況を基に、 履修認定の是非を決定する		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	VMD	2年／後期	0.25	必修
担当講師	川澁 泰子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
ショップレイアウト提案の指示が出来る人材の育成				
授業内容				
ブランディングとマーケティングを考えたうえでディストリビュート、コントロール方法など				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	商品企画について	1	量産注意にもとづいた企画の提案	
2	M A P 作成	1	オリジナルマップの作成	
3	シュミレーション	1	演習	
4	プレゼンテーション	1	課題発表	
5	フィードバック	1	まとめ	
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
トレンドや社会動向へ関心を持ち、店頭リサーチを日頃から実施することでより理解が深まる				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
アパレル商品企画とアイテム作成の一連の流れを理解する	講義20%・実習80%	学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	ディスプレイ	1年/前期	0.4	必修
担当講師	村尾 満弘	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
ディスプレイの基礎を身に着ける				
授業内容				
ディスプレイやグループでの企画を通して、基礎を身に着けていく				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	ディスプレイの重要性・基礎・VMD・什器・構成	1	ビジュアル演出の視点・核心と快適な空間づくり	
2	ディスプレイの構成	1	構成の種類と表現手法	
3	シンプルハンガー立案/テーマ別シングルハンガー	2	グループ企画での立案・企画を忠実に再現する	
4	スカーフアレンジ・結び方/レイダウンの基礎	2	スカーフの実習/半面で置くテクニックの着装感	
5	7日間コーディネート/スタイリング実習	2	レイダウンのテクニックコーディネート実習	
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
実習の多い講義です。欠席はしないよう心がけて下さい				
使用教材				
ファッション流通講座⑧「ディスプレイ・VP・VMD」（文化服装学院編）				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
基礎を身に着け、実践する力を身に着ける	講義20% 実習80%	出席率と授業への意欲を総合的に評価する		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	ピンワーク	1年／後期	0.25	必修
担当講師	村尾 満弘	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
ピンワークの製作を、ミニボディを通して体験し、オリジナルの作品を製作する				
授業内容				
ミニボディでのピンワークの製作。製作にあたっての、レポートと計画書も作成				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	授業「ミニボディの構成・ピンワーク」①	1.5	オートクチュール アンビエ・ドゥブルピエ・タック	
2	実習	1	作品レポート・企画書 作成	
3	授業「ミニボディの構成・ピンワーク」②	1.5	カジュアル アンビエ・ドゥブルピエ・タック	
4	実習	1	作品レポート・企画書 作成	
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
製作した作品、レポート、計画書は授業後に提出なります。 欠席や遅れている場合は、次回授業までに提出すること。				
使用教材				
ファッション流通講座⑧「ディスプレイ・VP・VMD」（文化服装学院編）				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
オリジナルのピンワーク を製作する	講義 実習	作品・レポート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	店舗リサーチ	1年/通年	2	必修
担当講師	大嶋 美枝子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
造形知識からデザイン画に落とし込みデザインバリエーションを導き出す				
授業内容				
デザイン資料から様々な手法を演習し、プレゼン発表式でデザインを提案する				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	リサーチについてとその必要性	4	プレゼン慣れ、少しでも向上しているか	
2	ファッションイメージマッププレゼン	4	サンプルを参考に出来るところまで進めておく	
3	ファッションビルショップリサーチ郊外学習	4	プレゼン慣れ、少しでも向上しているか	
4	ショップリサーチマップ作成実習	4	サンプルを参考に出来るところまで進めておく	
5	ショップリサーチマップ発表	4	プレゼン慣れ、少しでも向上しているか	
6	ディスプレイリサーチ プレゼン	4	プレゼンを理解し、良し悪しを判断する	
7	百貨店リサーチマップ プレゼン	4	プレゼンを理解し、良し悪しを判断する	
8	定点観測分析まとめ	4	サンプルを参考に出来るところまで進めておく	
9	定点観測発表	4	プレゼン慣れ、少しでも向上しているか	
10	子供服リサーチプレゼン	4	プレゼンテーション力の向上	
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
様々なアイテムを正確にリサーチできるようにする	講義60%・実習40%	作品評価 ※C,D,Eは不認定となる (出席重視)		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	アドパタイジング	2年/通年	2.9	必修
担当講師	久保 貴信	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
インターネットをビジネス（特にEC周辺）に活用するうえで、知っておくべき基礎知識の学習と、一個人でもECの立ち上げから企画、運用が実践できるような予備知識を学び、即戦力となりうる力を養っていく。				
授業内容				
IoT（デジタル機器や通信技術等含むネットの発達）による消費者行動の変遷を把握し、販売の知識とプロモーションの知識を養い、オムニチャネル（オンライン・オフライン）な企画立案・実行・運用がイメージできることを目標とする。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	アドパタイジング①	5	インターネット市場について	
2	アドパタイジング②	5	ファッションテック	
3	アドパタイジング③	5	EC構築サービスについて	
4	アドパタイジング④	5	SNS（ツイッター、インスタグラム）対策	
5	アドパタイジング⑤	5	ネット作成サービス演習	
6	アドパタイジング⑥	5	ネットショップ構築	
7	アドパタイジング⑦	5	関連デザイン	
8	アドパタイジング⑧	15	制作	
9	アドパタイジング⑨	5	発表	
10	アドパタイジング⑩	3	フィードバック	
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
ネットショップの立ち上げから集客まで運営の基礎を習得する	講義60%・実習40%	作品評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	パッケージ	1年/後期	0.75	必修
担当講師	小出 真人	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
リテールにおいて広く利用されている、コンピューターによるパッケージデザイン資料作成のスキルを習得。				
授業内容				
トレンド情報を活用しパッケージ資料の作成&実践をAdobeイラストレータ、フォトショップを使用して演習する				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	パッケージ①	3	写真コラージュとタイプグラフィー	
2	パッケージ②	3	リサーチから模倣	
3	パッケージ③	3	模範イメージからの展開	
4	パッケージ④	3	オリジナルイメージの製作	
5	パッケージ⑤	3	発表	
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項 (履修条件)				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
パッケージデザインができるようになる	講義60%・実習40%	作品評価 ※C,D,Eは不認定となる (出席重視)		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	品質管理・クレーム	2年/通年	1	必修
担当講師	川湊 泰子	実務経験のある教員等による授業科目		○
講義目的				
品質管理の目的と意義を理解し、素材に合わせた計画から改善までサイクルを理解する。 ロールプレイングで検証し、クレーム対応の仕方を学ぶ。				
授業内容				
品質管理の体系を理解し手法を身に着けることで、お客様との会話とトラブル対応など 実店舗で実際に起きうる事態を想定して演習。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	綿麻製品の商品知識	1	品質保証のプロセスの管理等について	
2	綿麻製品の商品知識 実習	1		
3	ロールプレイング	2	応答の技法について理解して演習	
4	ウール・獣毛・シルク製品の商品知識	1	品質保証のプロセスの管理等について	
5	ウール・獣毛・シルク製品の商品知識実習	1		
6	ロールプレイング	2	応答の技法について理解して演習	
7	合成繊維製品の商品知識	1	品質保証のプロセスの管理等について	
8	合成繊維製品の商品知識 実習	1		
9	ロールプレイング	2	応答の技法について理解して演習	
10	再生繊維・半合成繊維製品の商品知識	1	品質保証のプロセスの管理等について	
11	再生繊維・半合成繊維製品の商品知識実習	1		
12	ロールプレイング	2	応答の技法について理解して演習	
13	皮革・毛皮製品の商品知識	1	品質保証のプロセスの管理等について	
14	皮革・毛皮製品の商品知識 実習	1		
15	ロールプレイング	2	応答の技法について理解して演習	
留意事項（履修条件）				
特になし				
使用教材				
プリント等を配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
求められる販売員としての自覚・理解し、実践実行できるようになるまでを目標とする	(例) 講義20%・実習80%	出席・実践意欲・課題提出を総合で評価		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	パーソナルスタイリング	2年/後期	2	必修
担当講師	川津 康子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
個人のお客様に向けてのスタイリングサービスの提案ができるよう様々な引き出しを身につける				
授業内容				
パーソナルカラー・ラインアナリシス				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	パーソナルスタイリング①	4	女性ラインアナリシスについて	
2	パーソナルスタイリング②	4	バランスの作り方	
3	パーソナルスタイリング③	4	カバー方法	
4	パーソナルスタイリング④	4	男性ラインアナリシス	
5	パーソナルスタイリング⑤	4	個人マップ作成	
6	パーソナルスタイリング⑥	4	ラインアナリシス・マップ作成	
7	パーソナルスタイリング⑦	4	発表	
8	パーソナルスタイリング⑧	4	パーソナルカラー	
9	パーソナルスタイリング⑨	4	カラーバランスの作り方	
10	パーソナルスタイリング⑩	4	発表	
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
日頃からテレビを観たりしてる中でも、スタイリングの意識をつけておく				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
パーソナルスタイリストについての基礎習得が目標である	講義40%・実習60%	学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	スタイリングマップ	2年/後期	0.75	必修
担当講師	川津 康子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
スタイリングの基礎となるトレンド、オケージョンを、学び、マップを作成して理解を深める				
授業内容				
トレンドからスタイリングに落とし込むテクニックを身につける				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	スタイリングマップ①	2	マーケットリサーチ	
2	スタイリングマップ②	2	最新トレンド情報	
3	スタイリングマップ③	2	トレンド分析	
4	スタイリングマップ④	2	ファッション感性	
5	スタイリングマップ⑤	2	オケージョンについて	
6	スタイリングマップ⑥	3	まとめ	
7	スタイリングマップ⑦	2	発表	
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
アパレル業界で必要な知識を身につけ、マップにまとめることで応用力を身につける	講義40%・実習60%	学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	フォーマル・帽子	2年／後期	0.05	必修
担当講師	山野 たみえ	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
帽子についての知識、コーディネート方法を習得する。				
授業内容				
歴史や種類の演習				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	帽子の歴史についてコーディネート	1	歴史を知る	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
自分の持っている帽子を持ってくる				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
帽子についての知識を深める	講義100%	作品評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	アクセサリー	1年／前期	0.05	必修
担当講師	山野 たみえ	実務経験のある教員等による授業科目		○
講義目的				
アクセサリーの基礎を学ぶ				
授業内容				
工具・資材を学び、実際に製作する				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	アクセサリーの基礎と実習	1	工具・資材の基礎とアクセサリー製作実習	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
アクセサリー素材、副資材分類と特徴を学ぶ				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
工具・資材の基礎を考えながら実際に製作する	講義 実習	実習での製作物を評価		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	ヘア・メイク・ネイル	2年/通年	4	必修
担当講師	赤木 美里	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
ヘアの知識・技術を学習し、オリジナルのヘアアレンジが出来るようになる				
授業内容				
実習を行い、技術を身に付けていく				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	授業①ヘア知識	5	道具・基礎知識説明/ブラッシング・ゴム	
2	実習	5	復習 授業①	
3	授業②ホットカラー	5	巻き方の種類・基本/ポニーテール	
4	実習	5	復習 授業②	
5	授業③ホットカーラー	5	オールパーパス・GP巻き・テール巻き	
6	実習	5	復習 授業③	
7	授業④ホットカーラー	5	ストレートブロー・ホットカーラー (GP巻)	
8	実習	5	復習 授業④	
9	授業⑤合同 編み方	5	編み込み・ツイスト・スパイラルなど	
10	実習 合同	5	復習 授業⑤	
11	授業⑥ピン・コテ	5	ピンの種類・使い方/コテとカラーの違い	
12	実習	5	復習 授業⑥	
13	授業⑦合同 逆毛・抱き合わせ	3	逆毛の立て方・役割/抱き合わせ	
14	実習 合同	8	復習 授業⑦	
15	授業⑧合同 アップスタイル	9	アップスタイル・カールの出し方	
留意事項 (履修条件)				
授業・実習で、1年間で学習した技術を3つ以上使用し、テーマは自由でオリジナル作品を製作し、提出してもらうので、授業後復習はしっかりしておくこと。				
使用教材				
プリントを配布				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
3つ以上の技術を使用し、オリジナル作品を製作する	授業 実習	出席・授業態度・意欲・課題を総合評価する		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	IT（ビジネス）	2年／通年	2.5	必修
担当講師	劉 重孝	実務経験のある教員等による授業科目		○
講義目的				
Illustrator・Photoshop等を社会に出てスムーズに作業できるよう応用力をつけるための基礎を学ぶ。				
授業内容				
Illustrator・Photoshop等のソフトを使用しプレゼンテーション資料の作成や、より実践的な技術や手法を体験し学ぶ。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	Photoshop ①	3	画質調整・色調補正の練習	
2	Photoshop ②	3	レイヤーの説明・切抜の練習	
3	Illustrator ①	3	図形描画・変形・色設定	
4	Illustrator ②	3	文字入力、ベジェラインなどの基本練習	
5	Illustrator ③	3	スウォッチ・その他機能の練習	
6	Excel 演習	4	グラフ作成練習	
7	Illustrator ④	3	Illustratorでのグラフ作成練習	
8	Illustrator ⑤	3	チラシ作成練習	
9	Illustrator ⑥	3	トレース練習	
10	Photoshop ③	4	レイヤーを使用したメイク効果の表現練習	
11	Illustrator ⑦	3	ロゴデザイン・図形の変化応用	
12	Illustrator ⑧	4	販促アイテム作成	
13	解像度・素材の活用	3	画像取扱い時の解像度の基礎知識	
14	PowerPoint ①	4	プレゼン演習	
15	PowerPoint ②	4	プレゼン発表	
留意事項（履修条件）				
欠席した場合、次の授業までに自習しておくこと				
使用教材				
USBメモリ・筆記用具を毎回用意しておくこと				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
各ソフトの使い方を覚え、駆使していけるようになる	(例) 講義20%・実習80%	課題提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	ビジネス用語	1年/通年	1	必修
担当講師	長尾 由貴子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
用語を学習し、これからの授業・製作で活かす。				
授業内容				
テキストに沿って、ビジネス用語を学ぶ。				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	マーケティング&マーチャンダイジング関係①	1		
2	マーケティング&マーチャンダイジング関係②	1		
3	マーケティング&マーチャンダイジング関係③	1		
4	マーケティング&マーチャンダイジング関係④	1		
5	ファッション産業（構造・企業）・生産系①	1		
6	ファッション産業（構造・企業）・生産系②	1		
7	ファッション産業（構造・企業）・生産系③	1		
8	ファッション産業（小売関係）	2		
9	ファッションイベント情報	2		
10	ファッションに関する様々な職種	2		
11	商品/ディスプレイ/物流など	2		
12	略語/現代用語系	2		
13	ファッション産業（構造・企業）・生産系④	1		
14	ファッション産業（構造・企業）・生産系⑤	1		
15	ファッション産業（構造・企業）・生産系⑥	1		
留意事項（履修条件）				
使用教材				
ファッション大辞典 著 吉村誠一（織研新聞社）				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
用語を覚え、意味を理解する	講義	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次／学期	単位数	必修・選択
ビジネス	Fビジネス検定対策	1年／前期	0.5	必修
担当講師	長尾 由貴子	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
ファッションビジネス検定の合格に向けての授業				
授業内容				
テキストや過去の問題に沿って、学ぶ				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	検定問題①	1	マーケティング関係①	
2	検定問題②	1	マーケティング関係②	
3	検定問題③	1	マーチャンダイジング関係①	
4	検定問題④	1	マーチャンダイジング関係②	
5	検定問題⑤	1	ファッション産業（構造・企業）生産系①	
6	検定問題⑥	1	ファッション産業（構造・企業）生産系②	
7	検定問題⑦	1	ファッション産業（構造・企業）生産系③	
8	検定問題⑧	1	ファッション産業（小売関係）	
9	検定問題⑨	1	ファッションイベント情報	
10	検定問題⑩	1	ファッションに関する様々な職種	
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
使用教材				
過去問題				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
用語を覚え、意味を理解する	講義	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	製作実習	通年	6.9	必修
担当講師	有田 裕人	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
制作の実習授業				
授業内容				
制作に向けてのフォローアップ				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	制作実習①	13	仕様書作成	
2	制作実習②	13	製図	
3	制作実習③	13	仮縫い	
4	制作実習④	13	地直し	
5	制作実習⑤	13	トワール組み立て	
6	制作実習⑥	13	トワールチェック修正	
7	制作実習⑦	13	裁断	
8	制作実習⑧	13	組み立て	
9	制作実習⑨	16	仕上げ	
10	制作実習⑩	18	発表、提出準備	
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
使用教材				
筆記用具、縫製道具				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
制作物の完成	実習	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	学園祭実習	通年	2.5	必修
担当講師	有田 裕人	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
学園祭のファッションショーに向けた衣装の実習授業				
授業内容				
制作に向けてのフォローアップ				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	制作実習①	10	グループワーク、スケジュール設計	
2	制作実習②	10	製図～縫製パターン処理	
3	制作実習③	10	トワール組み立てからチェック修正	
4	制作実習④	10	基礎縫い、本縫い	
5	制作実習⑤	10	リハーサル	
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
提出期限を守ること				
使用教材				
筆記用具、縫製道具				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
制作物の完成	実習	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	卒業展制作実習	2年/後期	3	必修
担当講師	岡本 剛二	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
学園祭のファッションショーに向けた衣装の実習授業				
授業内容				
制作に向けてのフォローアップ				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	卒業展制作実習①	10	ポートフォリオ作成	
2	卒業展制作実習②	10	製図～縫製パターン処理	
3	卒業展制作実習③	10	トワール組み立てからチェック修正	
4	卒業展制作実習④	10	基礎縫い、本縫い	
5	卒業展制作実習⑤	20	コーディネート作成	
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
提出期限を守ること				
使用教材				
筆記用具、縫製道具				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
制作物の完成	実習	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		

学科名	科目名	年次/学期	単位数	必修・選択
ビジネス	自由研究実習	通年	4	必修
担当講師	一ノ瀬 美紀	実務経験のある教員等による授業科目		
講義目的				
好きな項目を自ら設定し、その事について詳しく調べまとめあげていく				
授業内容				
自由研究に向けてのフォローアップ				
授業計画および学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	自由研究実習①	10		
2	自由研究実習②	10		
3	自由研究実習③	10		
4	自由研究実習④	10		
5	自由研究実習⑤	10		
6	自由研究実習⑥	10		
7	自由研究実習⑦	10		
8	自由研究実習⑧	10		
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
留意事項（履修条件）				
個々で設定した研究内容を深く掘り下げること				
使用教材				
筆記用具				
最終到達目標	学習形態	成績評価方法		
制作物の完成	実習	ノート提出 A～E評価 ※C,D,Eは不認定となる（出席重視）		